



ベジシャス第 12 号フォトクリップ

@農業生産法人 耕す 木更津農場

2011 年 11 月 29 日

伊藤さん他スタッフの皆様



農場内にある養鶏場。
収穫の時に発生する野菜の端材に酵母等を加えた飼料を餌に育てています。
現在、約800羽いますが、年内に300羽追加する予定です。



出荷がピークを迎えているミニはくさい
“娃娃菜（わわさい）”



有機 JAS 認証です。

取材当日はスタッフの皆さんお手製のお昼を一緒にいただきました。
農場内で飼育されている地鶏の卵を使った卵かけご飯！
農場内で出た野菜くずを発酵させた餌を食べています。
地鶏の卵は黄身がレモン色で、いくつでも食べたくなる味です。



形が悪く出荷できない野菜が、スタッフの手によりパスタやけんちん汁に大変身！
これからの季節は、はくさいの漬物もレパートリーに加わります。



栽培品目は 20 種以上！
旬を迎えた冬野菜がすくすく育っています。



だいこん



ブチヴェール



カリフラワー



はくさい



ブロッコリー



さといも

冷蔵庫も完備されています。
にんじんもここで貯蔵され、計画的に出荷されます。



雑木林を開墾しているので、イノシシ等に
遭遇することもあります。
圃場の周囲には、イノシシ避けの
電線が張り巡らされています。



農場に突然現れる
近未来的なオフィス。
オフィス内では作付計画の作成や
トレーサビリティ等の管理を
行っています。

バックナンバーも協議会サイトに掲載しています。
ぜひ、ご覧ください！
http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html